

『社会科中学生の公民』の特色一覧

①教育基本法との対応

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
<p>第1号</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<p>○各部などの冒頭に、大きなイラストから読み取り作業を行う「学習の前に」を設けた。これにより、生徒の興味・関心を引きつけ、「主体的な学び」を促せるようにした。 (p.1-2,27-28,65-66,107-108,171-172)</p> <p>○章や節のはじめの「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」と「確認しよう」「説明しよう」、章や節の終わりの「振り返ろう」というように問いを構造化することで、単元のまとまりのなかで「深い学び」が実現できるように構成した。 (全編)</p> <p>○本文は、具体的に例示したり、社会的な事象の背景や因果関係までわかるようにしたりするなど丁寧でわかりやすく、幅広い知識と教養を無理なく身に付けられるようにした。 (全編)</p> <p>○「章の学習を振り返ろう」の右ページでは、「社会的な見方・考え方」を働かせた言語活動を行うことで、学んだ知識に基づいて「深い学び」が実現できるようにした。 (p.16,26,64,106,156,170,202)</p> <p>○実社会のさまざまな課題に取り組む人々へのインタビュー「先輩たちの選択」を設置し、中学生に語りかけるメッセージなどにより、社会に積極的に参画することの大切さを実感し、豊かな情操を培えるように工夫した。 (p.13-14,85-86,104,154,199,200)</p>	<p>おもに 特色1 p.5-10 特色2 p.11-16 特色3 p.17-26 特色5 p.31-32</p>
<p>第2号</p> <p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<p>○第3部第1章第3節「企業と経済」では、節全体を通して企業経営を疑似体験し、自分なりに意思決定していくコーナーを設けた。これにより、起業の意義を実感を伴って理解するとともに、勤労を重んずる態度を養えるようにした。 (p.127-144)</p> <p>○特設ページ「先輩たちの選択」を設け、さまざまな職業にやりがいをもって取り組む人々の姿から、勤労の重要性に気がつけるようにした。 (p.13-14,85-86,104,154,199,200)</p> <p>○「技能をみがく」コーナーでは、情報収集や議論の進め方などの技能を身に付けられるようにした。 (p.24,123-124など計10か所)</p> <p>○インクルーシブ教育に配慮し、誰でも読み取りやすい書体(ユニバーサルデザインフォント)や色調を導入することで、さまざまな特性をもつ生徒の価値を尊重して、その能力を伸ばせるようにした。 (全編)</p> <p>○二次元コードを随所に設置することで、授業以外においても生徒が自主的に活用できるよう配慮した。 (巻頭4など計25か所)</p> <p>○教科書の用紙は、丈夫でありながら従来より単位面積あたり約5%軽量化したものを新たに開発し、持ち運びの際に生徒の負担にならないようにした。 (全編)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-16 特色5 p.31-32 および p.37-38 および p.43-46</p>

『社会科中学生の公民』の特色一覧

①教育基本法との対応

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
<p>第3号</p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○特設ページ「アクティブ公民」を設け、社会が直面している課題や問題点に関して自分なりの意見をまとめたり、話し合ったりする場面を数多く設定した。これにより、学習内容をさらに深め、生徒の自主性や創造性を伸ばせるよう工夫した。(p.23-24,33-34,57-58など計10か所)</p> <p>○コラム「未来に向けて」や特設ページ「よりよい社会を目指して」を設置し、人々が連携・協働して社会的な課題に取り組んでいる姿を紹介することで、生徒自身も社会の一員としての公共の精神をもち、主体的に社会の形成に参画する意識を高められるようにした。(p.6,138,196,巻末2-3など)</p> <p>○第4部第2章「課題の探究」では、「持続可能な社会の実現」という観点から、自分の考えをレポートとして作成する手順を具体的に紹介することで、社会的な課題の解決に向けて考察・構想し、論述できるようにした。</p> <p>○教科書中のキャラクターは、全体として男女の比率がほぼ同じになるよう留意した。(全編)</p>	<p>おもに 特色2 p.11-16</p>
<p>第4号</p> <p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」について解説することで、自然を大切に、環境保全に寄与する意識を高められるようにした。(p.195-196)</p> <p>○特設ページ「よりよい社会を目指して」において、環境の保全に取り組む人々や地方公共団体の事例を多数紹介することで、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした。(p.197-198)</p> <p>○第4部第2章「課題の探究」では、環境問題への対応も含めた「持続可能な社会の実現」という観点で考察・構想し、論述していく手順を掲載することで、環境を保全し生命を尊び持続可能な社会をめざす態度を養えるようにした。</p>	<p>おもに 特色2 p.13-16</p>
<p>第5号</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○狂言師・野村萬斎さんのインタビューを通じて、日本の伝統文化の奥深さを知るとともに、伝統を継承し、創造していくことの意義を実感できるようにした。(p.13-14)</p> <p>○第4部第1章第1節「1 国家と国際社会」において、国旗や国歌を相互に尊重することが現代社会の重要な儀礼であることを解説することで、我が国のみならず諸外国の国旗および国歌を尊重する態度を養えるよう配慮した。(p.173-174)</p> <p>○第4部第1章第1節「2 領土を巡る取り組み」において、日本の領土や領域について、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることを明記することで、日本政府の立場や解決に向けた取り組みを丁寧に解説した。(p.175-176)</p> <p>○第4部第1章第1節「7 国際社会における日本の役割」では、日本の国際協力について、ODAや自衛隊による貢献など、さまざまな面から紹介した。(p.185-186)</p>	<p>おもに 特色2 p.15-16 および p.41-42</p>